



# 地球暮らし

地球温暖化防止と  
環境共生住宅を考える

株式会社さつまホーム企画室  
地球やりなおし計画  
事務局

## 『地球暮らし』第2部・ぼちぼちスタートします

みなさんこんにちは、さつまホームの瀧川です。この『地球暮らし』も準備号を含め12回目。もうすぐ1年になります。早いですね。今月からしばらくは趣向を変えて、サブタイトル後半にある「環境共生住宅」の方のお話をさせていただきます。

LOHAS(Lifestyles Of Health And Sustainability)という言葉はもうあちこちで頻りに目にするようになりましたね。健康と環境に配慮したライフスタイルを表す言葉としてすっかり定着した感があります。「LOHASな人」がいるように、住宅にも「LOHASな家」=環境共生住宅という概念が生まれ、そんな家に住みたいという意識の高い人がいて、それを開発するべく頑張っている人たちがいます。LOHASな家とは、環境共生住宅とはどういったものなのでしょうか？



## 環境共生住宅 ~ その進歩と普及は私たちの意識にかかっています ~

**武**蔵工業大学大学院教授の岩村和夫さんは、1980年に「株式会社岩村アトリエ」を設立。以来一貫して「環境」の視点から建築や都市を捉え、そのあるべき姿を研究して来られた人として有名です。

CO2排出量を減らすとか、資源の消費量を減らすという議論ばかりだと「じゃあ、20年前の生活に戻るのか」という話になりかねません。岩村さんの考えは「生活の質の向上と環境負荷の低減を両立すること」。この2つを同時に考える「エコ・エフィシエンシー(環境効率)」という概念がありません。製品やサービスの経済価値を分子、環境負荷を分母とする割り算で表します。質が高く負荷が小さいほど環境効率の値が高くなるわけです。

**建**物の環境効率については、2001年にスタートした日本独自のシステムとして「CASBEE(キャスピー=建築物の総合環境性能評価システム)」という物差しがあります。これは、従来は公共建築や

商業ビル、マンションなど大型の建築物専用でしたが、来年から「CASBEE-住まい(戸建)」もスタートする見通しとなりました。

**岩**村さんは言います。「CASBEEはあくまで物差しにすぎず、何かを規制するものではありません。住宅を選ぶとき、環境効率を重視するかどうかは、住む人の



スペイン・アンダルシア地方の村・カサレス。真っ青な空を背景に、赤いスペイン瓦と真っ白な漆喰の外壁で統一された街並みが美しい。外壁の漆喰は天然素材で、しかも重ね塗りするだけでメンテナンスで数100年の使用に耐える、環境負荷が非常に小さい建材である。

自由に任されています。「技術や制度を変えるだけでは社会は変わりません。サステナビリティ(持続可能性)が浸透するためには、マーケットが変わる必要があるのです」と。環境効率の高い建物が、資産価値も高いと認知されるようになれば、ということですね。近年の日本の住宅は一般に寿命が短く、環境はもとより住む人の建設費の負担も大きくなりがちです。これをクリアするには必然的に、構造体も建材も、従来よりはるかに耐久性の高い建物にする必要性が増えてくるでしょう。そういう意味では、自然とサステナビリティの考え方に近付いているといえます。

**政**府による環境共生住宅の取り組みは、すでに1990年から15年にわたって続いています。世界的に見ても、日本の環境建築技術はトップレベルだそうですから、これからサステナビリティが実現できるかどうかは、私たち一人ひとりの意識改革にかかっているのでしょう。



## トピック

### 2013年以降も枠組み構築合意

ケニアで開催中の地球温暖化防止条約締結国会議は、京都議定書が定めていない2013年以降の温暖化対策の枠組みづくり作業を本格化することで大筋合意。空白期間なく温暖化対策を続けられるかが焦点に。

### メタン大量放出で温暖化が「悪循環」に

ロシア・シベリア地方の湖の下に閉じ込められていたメタンが気泡になって上昇し、大気中に大量に放出されていることを、米国とロシアの共同研究グループが突き止めた。メタンは二酸化炭素の23倍という強力な温室効果ガス。

## 情報リンク

### 株式会社岩村アトリエのサイト

<http://www.iwamura-at.com/index.html>

### CASBEE(建築物総合環境性能評価システム)のサイト

<http://www.ibec.or.jp/CASBEE/>

### 日経住宅サーチ(住まいづくりの新潮流 2006)

<http://sumai.nikkei.co.jp/special/tenbou/sub20051222u4000u4.html>

本文執筆にあたり、上記サイトを参考にさせていただきました。

## 編集後記 忘れてたわけじゃなくて・・・

先月の『地球暮らし』では何と地球を死の星にしてしまい、正直「今月から一体どうすればいいんだ・・・」と思っていました。でも環境共生住宅のお話は決して忘れていたわけではなく、あれは温暖化のシリアスな話からの移行にいい節目になりました。(言い訳かい??)

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com

FAX : 06 - 6855 - 7700

郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-11-47

ステップビル3F (株)さつまホーム企画室

さつまホームは地球温暖化防止に取り組んでいます

